

基本的な考え方

日本を代表する文化的リーダーからの呼びかけを受け、平成28年5月、京都市、京都府、京都商工会議所等のオール京都による実行委員会を発足

＜共同代表理事＞門川大作 京都市長、西脇隆俊 京都府知事、立石義雄 京都商工会議所会頭

＜総合監修者＞山極壽一 京都大学総長

＜実施計画(総論)のコンセプトメッセージ＞創造する文化 京都から世界へ The Creative Power of Culture : From Kyoto to the World

2016年度	キックオフ	スポーツ・文化・ワールド・フォーラム
2017年度	テーマ:舞台芸術	東京キャラバン in 京都
2018年度	テーマ:美術・工芸	野外インスタレーション公募展 他

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、オール京都で多彩な文化・芸術を国内外に発信していくことにより、京都の文化を通じて、国内外の人々との出会いと多様な交流、新たな創造を生み出すとともに、一過性ではない将来に向けたレガシーを残していくことがミッションである。

＜事業方針(案)＞

2019年度

くらしの文化

- 市民が現代の京都に受け継がれる伝統に親しむ
- 文化芸術の裾野を広げ、身近なものに

文化芸術の“じぶんごと”化

文化芸術への
関心UP

2020年度

あらゆる分野を融合した総合的な祭典

- 国内外との出会いと多様な交流、新たな創造を生む
- 京都を文化交流の交差点に

文化交流によるフュージョン（融合） & クリエーション（創造）

世界を迎える土台づくり

オール京都で世界を迎える

○2019年 国際博物館会議（ICOM）京都大会，UNWTO/UNESCO国際会議

○2020年 京都市美術館リニューアルオープン，KYOTO STEAM ―世界文化交流祭―

⇒この他，本市既存事業や周年事業，民間等も含めた多様な文化事業との連携を図り，一体的な情報発信を行う。

○2021年 文化庁全面的移転，ワールドマスターズゲームズ2021関西 ⇒2021年以降に続くレガシーの創出を目指す。